

青がし



烏山北小学校の教育目標

<目指す児童像>

- ◎すすんで学びよく考える子ども
- 豊かな心をもち仲良く助け合う子ども
- すすんで健康な体をつくる子ども

「かしこい子」「らしさを大事にする子」

「きりつ正しい子」「たくましい子」



令和5年11月30日(木)
創立71年 No. 7

烏山学舎 世田谷区立烏山北小学校 校長 河野 芳浩
〒157-0061 北烏山6-3-1 TEL3300-5764 FAX3300-5785

上のQRコードより学校HPにアクセスできます。 <http://school.setagaya.ed.jp/kata/>

「ゆめいのりほほえみじょうねつ 展覧会♪」

校長 河野 芳浩

11月16日から18日まで、「目標へむかってはばたけ～がんばるみんなにエールをおくろう～」をスローガンに、展覧会が行われました。思いを込めて作り上げた愛おしい作品が、体育館いっぱい飾られました。また、家庭科の作品は、家庭科室前に展示をしました。さらに、烏山中学校や青光学園のみなさんの作品も展示しました。

様々な素材、色彩、豊かな発想力やひらめき、おどろき、遊び心などを働かせて作り上げた作品の数々。作品をじっと見ていると、夢中になって作品作りをしている子どもたちの姿が思い浮かび、にぎやかな声までもが聞こえてくるようでした。

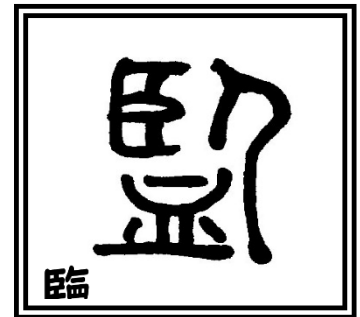
児童鑑賞日は2日間あり、子どもたちは2回鑑賞しました。1日目は学年・学級ごとに。2日目は、青がし班ごとに分かれ、6年生がアテンドしながら会場をまわり、メンバーそれぞれが自分の作品を紹介しながら鑑賞しました。作品介绍後には自然と拍手が沸き起こり、紹介をした子の緊張もほぐれ、笑顔に変わっていくのが分かりました。

展覧会の「展」の字は、「ひろげる」意味があります。体育館いっぱい作品を並べた様子にぴったりです。

「覧」の字には、どんな意味があるのでしょうか。成り立ちを調べてみました。

「覧」は、昔は、「覽」と書き、「臨」と「見」を上下に重ねて作った文字なのだそう
です。どちらも見ることを表す字で、見ることを重ねた文字だということからつまり
「じっくり見る」という意味になるそうです。さらには「臨」は、ただみるのではなく、
「かがんで、水に映した自分の姿をみる」という意味があることが分かりました。

これらのことから「展覧会」では、心を込め自分の思いを込めて作品を作り、自分
が作品に映しこんだ自分の姿を見ているのだということに気がきました。ただ見る
だけでは気付かない、作品に込められた想いや心をじっくりと「覧(みる)」のです。



改めて、自分の作品をみて、新しい発見もあったことでしょう。また、友達作品からは、気付かなかった友達の想いや気持ち、よさなどにも気付くことができたのではないのでしょうか。

会場いっぱい展示された作品を鑑賞していると、作品のもつエネルギーや華やかさに励まされるようなとても嬉しい気分にもなりました。スローガンにある通り、作品づくりや鑑賞を通して、お互いにエールを送り合えたすてきな展覧会でした。

期間中、多くの皆様にご鑑賞いただきました。感謝いたします。ありがとうございました。

12月を迎えます。2学期最後の月となります。今月も学校教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたしません。

12月生まれのお友達へ おたんじょうびおめでとうございませう。一年の締めくくりの月、この一年を振り返りながら、新しい年へ向けて夢がふくらむすてきな季節です。

みなさんのけんこうがささえられて、新しく年を重ねたよろこびを大切に、友達や家族みんなとなかよく、楽しい毎日をすごしてくださいね。みんなの夢をおうえんしています。新しいチャレンジを楽しんでいきましょう。